



市議会だより

第171号

平成29年2月15日



10月臨時市議会
11月臨時市議会

1月15日 鳥栖市ロードレース大会
たくさんの選手が健脚を競いました

12月定例市議会

補正予算や条例案を審議

一般質問 .. 4~8

- ◆ 常任委員会審査報告 ③
- ◆ 主な事業と予算額 ③
- ◆ 行政視察報告 ⑧
- ◆ 議決結果 ⑨
- ◆ 意見書・陳情・表彰 ⑩
- ◆ 議会日誌・編集後記 ⑩

12月定例会

12月定例会は12月1日から20日まで開かれ、市長提出議案14件、議員提出議案9件の審議のほか18人の議員が一般質問を行いました。

今定例会には、補正予算として、補助事業では、障害者自立支援給付費、障害児施設給付費、臨時福祉給付金給付事業、道路舗装事業、既設公営住宅改善事業、農地の災害復旧経費などが計上されました。

単独事業では、子どもの医療費助成の現物給付方式の拡大に伴うシステム改修経費、タマネギべと病緊急特別対策事業、県営水利用施設整備事業負担金、県営防災ダム改修事業負担金、小中学校トイレ改修事業経費などが計上されました。

また、条例では、国の法律の改正に伴う条例改正案などのほか、子どもの医療費助成の現物給付方式を高校生まで拡大する条例案、コンビニエンスストア等での印鑑登録証明書の交付方法を定める条例案などが提案されました。

議案の審議のなかで、市有施設の指定管理者選定の方針に關しての質疑が行われ、「当方針の運用方法など、適切な対応を図っていく」という答弁がありました。

市長提出議案はすべて原案のとおり可決

今回提出された議案は、各常任委員会での慎重な審査を経て、すべて原案どおり可決されました。

また、提出された9件の意見書案は、6件が可決、3件が否決となりました。

議会運営委員を選任

議会運営委員の選任が行われ、新しい委員は次のとおりとなりました。

- ◎内川隆則（社会民主党議員団）
 - 久保山日出男（自民クラブ）
 - 成富牧男（日本共産党議員団）
 - 久保山博幸（自民クラブ）
 - 飛松妙子（公明党）
 - 柴藤泰輔（天桜会）
 - 伊藤克也（新風クラブ）
- ◎◎委員長、○◎副委員長、以下年齢順、カッコ内は所属党派



市有指定管理施設の
すみか 宿の宿

10月臨時会

10月28日に臨時会が開かれ、鳥栖西部第二工業用地中、1区間の売却に伴う土地の処分について審議されました。

議案が付託された建設経済常任委員会では、分譲単価の算出、現在の引き合い状況、分譲してから5年間、契約までに至らなかった主な理由、生産過程の排水の対応などへの質疑等がありました。

議案は全会一致で原案のとおり可決しました。

11月臨時会

11月29日に臨時会が開かれ、人事院勧告等に準じ、市議会議員、特別職員の期末手当、職員の給与改定と特別職職員給与の減額を行うための条例について審議されました。

今回提案された議案は、各常任委員会へ付託され、人件費のなかで給与改定等に伴うものと人事異動に伴うものの内訳、予算の減額の理由などへの質疑がありました。すべての議案は原案どおり可決されました。

特別職職員給与改正条例に対する附帯決議を可決

特別職職員の諸給与と条例の一部を改正する条例案に対しては、特別職の責任の処し方に対し「これからの調査を踏まえた上で、必要であれば、改めて責任のとり方を検討し、特別職の責任をもっと明確にすべきである」とする附帯決議が総務文教常任委員会から提出され、全会一致で可決されました。

平成28年度 一般会計補正予算

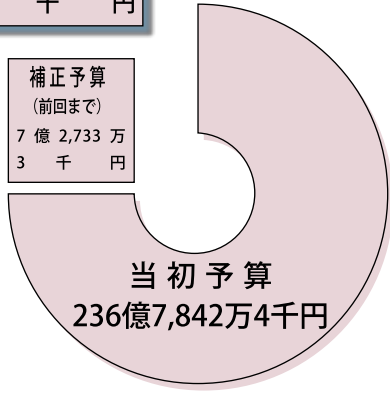
補正額 1億6,473万3千円

予算合計 245億7,049万円

補正予算
(今回)
1億6,473万
3千円

【主な歳入】
市税 8,000万円
国・県支出金 5,958万8千円
繰入金 2,613万9千円

補正予算
(前回まで)
7億2,733万
3千円



当初予算
236億7,842万4千円

主な事業と予算額

- 障害者自立支援給付費……………4,600万円
- 障害児施設給付費……………8,000万円
- 臨時福祉給付金給付事業……………1億7,551万2千円
- システム改修等委託料……………192万円
- タマネギべと病緊急特別対策事業……………38万円
- 県営水利施設整備事業(鳥栖南部地区)負担金……………2,832万5千円
- 県営防災ダム改修事業負担金……………1,410万円
- 農地現年災害復旧工事費……………200万円
- 道路舗装事業……………1,486万2千円
- 既設公営住宅改善事業……………2,097万6千円
- 小中学校トイレ改修事業……………1,000万円

常任委員会審査報告概要

総務文教



選挙管理委員会事務局 公職選挙法施行令の改正内容とその理由。
 教育委員会事務局 学校給食センターの熊本地震被災状況の検証委員会について、検証スケジュール及び被災検証の中間報告と最終報告の方法。学校施設の修繕料及び施設の点検体制と危険箇所への対応。小中学校トイレ改修のスケジュールと事業費の見込み、小中学校トイレの洋

建設経済



式化、目標とする洋式化率及び実施した場合の光熱水費。小中学校の光熱水費の状況、電力量の抑制策及び夏季休業期間のプール開放。
 商工振興課 鳥栖西部第二工業用地の残りの1区画の引合い状況。富山県と共同申請する配置売薬の日本遺産認定手続きの現状と情報発信の在り方。
 農林課 タマネギの作付面積と耕作者数。地域休養施設の温泉源の湧出量の状況と今後の対応。農業体験研修等の実施の状況と今後の利用計画。
 維持管理課 杓子ヶ峰登山道整備完了までの登山者の安全確保。
 農業委員会事務局 農業委員と農地利用最適化推進委員の要件と定数の考え方。
 上下水道局 マンホールを修繕することになった原因等。

厚生



社会福祉課 地域介護・福祉空間整備補助金に関し、事業の内容と専門職員及び事業所整備の公募の有無。臨時福祉給付金給付事業に関し、給付対象者数、未申請者の状況とその対応。
 こども育成課 保育園・認定こども園等施設整備の状況。
 スポーツ振興課 スポーツ大会出場費補助金の実績と考え方。
 スタジアムネーミングライツ企業特典事業委託料の委託先と内容。
 市民課 印鑑登録証明書のコンビニ交付に関し、対象となるコンビニエンスストア、事業費、戸籍証明書の利用登録の方法。
 国保年金課 県内での医療費の窓口負担の状況。シエネリック医薬品の使用割合と医療費の削減効果。
 税務課 延滞金の計算期間の具体的な改正内容。収納率の状況。

予算説明や 質疑内容

一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対し、市政全般にわたり、事務の執行状況、将来に対する方針等についてたずねるものです。



今定例会では、18人の議員が一般質問を行いました。ここには、その中から抜粋したものを発言者順に掲載しています。

掲載した内容は、タイトルを含め、各議員本人が要約したものです。

詳しい内容は、インターネットの録画中継でご覧いただけます。ぜひご覧ください。



特別教室にも エアコンを

内川隆則(社会民主党議員)

問

私は、先の9月議会でも申し上げて来た通り、普通教室に引き続き、新年度予算に向けて特別教室にもエアコンを設置してほしい。昨年の夏は「音楽の教諭が体調不良」「音楽や理科の授業を普通教室で行った。」と聞いている。鳥栖市は人口が増えている。若い人達が住むためにはこの様な学校の設備改善は重要である。又、最近の気候は暑い期間が長期化している。又40度近く

なる事もなっている。この夏への対応を。

答

今現在、学校施設整備については、小中学校の校舎の老朽化に伴う大規模改造工事他、屋内運動場の照明器具等の改修工事やトイレの洋式化改修工事への対応を進めている。特別教室のエアコン設置も重要課題と考え、学校施設整備状況を勘案し、優先順位を定め整備していきたい。

このほかの質問◆鳥栖駅舎保存は必要か／プール建設を中断して市庁舎建設が最優先か



鳥栖駅舎の保存・活用について

尼寺省悟(日本共産党議員団)

問

11月10日に、「鳥栖駅舎は貴重な文化財であり、当初の姿に復元した状態での現地保存を求めろ」という文化財審議会の答申・提言がなされた。さらに「東西をつなぐ橋上駅は必要。しかしそれと駅舎の現地保存は矛盾しない」との文化財保護委員の発言もある。一方、市長は記者会見で、駅舎を残すことに否定的な考えを示したが、市長が諮問し、答申・提言をえたのだから、

それを尊重すべきでないのか、実現に向け最大限努力すべきではないのか。

答

答申・提言については真摯に受け止めている。一方、保存・復原の方法によっては一定の経費、耐震・防火等の構造上や法制上の対策も必要となってくる。また駅舎としての機能がなくなる以上どのような活用していくかも考える必要があり、このような保存・復原・活用に關する諸々の課題も含め、総合的な視点で検討していきたい。

答

熊本地震で宇土市役所での倒壊の恐れ、鳥取県中部地震で、倉吉市役所の業務停止など、十分な耐震環境にない市役所が、いざという時に大切な市民を守りきれない。市民の安全安心、災害時の体制に万全を期すとの考えを強く持った。

今の庁舎は耐震性がない状況で、市民、職員の命を守るというところで、今回、可及的速やかに対応すべきと判断した。市庁舎整備の検討は、早急に解決しなければならぬ重要な課題と捉え、全員協議会で報告した。今後、庁内検討会等で進めていく。

このほかの質問◆鳥栖市の財政

問

今回、市議会全員協議会で、仮称健康スポーツセンター建設を先送りして、市庁舎を建て替える方針を急ぎよ表明された。「3年後の着工を目指すー平成31年度中建設に着手。」と示され、方向転換の理由を説明された。そこで、庁舎整備の検討を最重要事項と報告された。そこで聞きます、今後の市庁舎建設への道すじと、その方向性への決意を伺いたい。



市庁舎建設への道すじについて

国松敏昭(公明党)



庁舎建設

について

藤田昌隆(新風クラブ)

問 庁舎建設を決定された理由、庁舎の規模、防災機能、庁舎建設方法について。

答 熊本地震以降、災害時の防災拠点、市民への情報発信、災害復旧の指令室等となる市庁舎の重要性を再認識し最優先事項とした。防災拠点機能、分かりやすい窓口機能、高齢者、障害者など全ての方に利用しやすい機能、執務上効率的な機能等をもった庁舎を整備する。発注方



①小中学校整備

②保育行政

樋口伸一郎(自民クラブ)

問 12月定例会において、小中学校のトイレ改修費1千万円、体育館電気等の修繕費120万円が議案として上程されました。歩道確保等の通路路整備も合わせ、一刻も早い改善終了と、子どもたちへの未来への投資も勘案された今後の財政計画の検討を要望しますが、執行部のご所見を伺います。

答 トイレ改修については、今後7年次に実施してまいります



式は従来方式、設計・施工を一括で発注するデザインビルド方式、PFI方式等の建設方法を検討していく。このほかの質問◆佐賀国体に向けての準備について/ベストアメニティスタジアムの運営管理について

す。また、体育館や通路路においても、必要予算の確保及び必要条件が整ったものについては、早急改善に努めてまいります。

問 本市の今後の保育行政については、ご家庭、保育園、保育士、3者のバランスを維持しながら、官民問わず市内全体の保育環境の底上げがさらに必要だと考えますが、執行部のご所見を伺います。

答 鳥栖子ども・子育て支援事業計画に基づきながら、保育環境全体の底上げを実施していくとともに、持続性のある施策を検討していくこととしております。



市庁舎整備

について

松隈清之(天桜会)

問 耐震性に問題がある本市庁舎の整備を急ぐとの考えが示された。新庁舎については、税務署等の国の機関や土木事務所や保健所等の県の機関との合同庁舎にすることで市民の利便性向上が図られると考える。また、建設コストについてもより高度な耐震性を備えた建物にするならば合同庁舎にして負担を分担する方がそれぞれがメリットを共有できるのではないかと。市民の利便性



現駅舎

市長コメントについて

久保山博幸(自民クラブ)

問 市長は現鳥栖駅舎の今後の取扱いについて文化財保護審議会に対して諮問・提言を求められたが、答申提言が出るのを待たずに保存・移築に否定的な考えを公式に表明された。これでは委員の皆様は失礼するのではないかと。又、「移築に庁舎建設同等の費用がかかる」と不確実情報を元に発言された。これは市民意識のマイナスへの誘導ではないかと。又、「駅舎・駅前広場はJRの

と高度な耐震性能を両立する合同庁舎での整備について執行部の見解を尋ねる。

答 新庁舎が災害時の防災拠点として十分に機能を発揮するために、高度な耐震性能を確保する必要はある。一般論として、高度な耐震性能を有する庁舎の建設には、一般的な建築物の建設と比較するとコストが高くなるが想定され、他の行政機関と複合型の庁舎とすることでコスト削減についても、検討していく必要がある。

ものであり我々がどうしろと云ってはならない」と申された。市長自身は8年の間、高架を選挙では橋上駅と散々言ってこられたではないか。シビックプライド醸成の観点からもう少し丁寧な対応と行政運営を求む。

答 駅舎の取り扱いは、答申・提言の内容に関わらず、市の考えを整理した上で、最終的にはJR九州との協議・調整を踏まえて、方針を決定する必要がある。市民の「思い」の部分をつくみ取るか、鳥栖駅周辺整備事業との兼ね合いの中で検討してまいります。



**サガン鳥栖と
ホームタウン
西依義規(新風クラブ)**

問 用地費30億8千万円、建設費69億5千万円の計約100億円を投じ建設されたスタジアム。5月に、元本と利子を合わせ、約113億円のスタジアム建設費の返済が終了しましたが、これまでのサガン鳥栖支援の内容は。

答 平成8年にスタジアムを建設し、平成13年度に約1千700万円、平成15年度に約2千万円のスタジアム使用料の減免、平成17年度

にスタジアムの使用料を「入場料総額の10%又は最高入場料の200人分のいずれか多い額」を「最高入場料の150人分」と条例改正を行いました。

また、佐賀県等の助成を活用し、平成24年度、約4億円で、北部グラウンドクラブハウス・練習場の整備、平成25、26年度、約6億3千万円で、スタジアムのトイレ増設や一般用工シベーターの設置、ピッチ芝の全面張替等を実施し、サガン鳥栖を支援しています。
このほかの質問◆地区防災とまちづくり推進協議会



**交通安全と
道路整備について
中川原豊志(自民クラブ)**

問 人口十万人あたりの交通事故数は、佐賀県が1025件で、全国で一番人身事故が多い県となっており、4年間連続でワースト1位を更新している状況であります。又鳥栖市としても県内の市町で比べると第3位に多い市でもあります。原因としては交通渋滞箇所が多く前方不注意による追突事故が最も多くなっている事から、交通渋滞を解消する為の道路整備の計画と、子供や、

高齢者が交通事故の犠牲者とならない為の交通安全の取り組みについてと、高齢者の方が運転免許証を自主返納された方への市の支援策について伺う。

答 県及び市においては、警察署や、交通安全対策協議会等と連携し、園児や小、中学生から高齢者に至るまで交通安全教室の実施や事故防止の啓発活動に努め交通事故ワースト1脱却に向けた取り組みを行うと共に道路の渋滞緩和に向けた取り組みとして国や県への要望を行っている。又高齢者福祉乗車券の利用も推進していかねばならない。



**小学給食センター施工監
理業務の契約について！
小石弘和(誠和クラブ)**

問 入札・随意契約のいずれにしる、施工監理業者は設計意図を汲み取り、安全かつ必要な機能を発揮できる施設となるよう、工事施工に対し助言・指導すべきであり、それが重要な責務である。しかし、震度4程度の揺れで破損してしまい大きな不信が残る。種村副市長も、発覚直後の7月28日に現場を実検されたと聞けが、その時の所見を伺いたい。また、施工監理や施工への不信

ということもあり、今後の第三者による調査・検証が行われるが、市民・報道・市議会等に対しても現場を公開すべきではないか。

答 7月に私自身現場を訪れ、天井ボードや金物と壁とのクリアランスが6センチメートルに満たない箇所があることを確認した。検証委員会については、専門家の視点で調査・検証が進められると考えている。現地を含めた調査内容や方法、時期にもよるが、公開についても検討いただきたいと考えている。
意見 是非、公開していただきたい。



**給食センターは
特定天井か
成富牧男(日本共産党議員団)**

問 以前、教育委員会は、「設計時は、高天井に係る建築基準法施行令は改正前だったが、内容は把握できていたので、すべて改正後の新基準で設計することにした。また未定だったクリアランスの幅については、工事を進める中で対応した。給食センターの高天井は特定天井に準じた仕様である」旨の説明をしてきた。はたしてそうなのか。基準の一つである水平方向に対する地震力

は、改正の前と後でどう変わったのか。
答 1G程度とされたものが、最大で2.2Gに見直され、給食センターで1.65Gとなっている。

問 実際の給食センターの図面には「天井面は水平加速度1Gに耐えるように」とある。これは新しい基準に合致しているといえるのか。

答 工事発注時に定めた1Gのまま工事を竣工した。
このほかの質問◆保育士確保について



チーム学校と 家庭教育支援 飛松妙子（公明党）

問 世界一忙しい日本の学校の教師は、生徒と向き合う時間が十分に確保できていない。国は、学校と地域が一体となり、子どもたちを取り巻く課題に対応する「チーム学校」の実現を目指す。本市の見解を伺う。

答 多忙な教職員を様々な専門スタッフが支える「チーム学校」は、いじめ問題、不登校をはじめ、複雑で多岐にわたる問題等の解決に

向けて、大変有効な施策と考える。家庭教育は、すべての教育の出発点です。本市における家庭教育支援について伺う。

答 家庭と地域・学校をつなぐ「家庭教育支援チーム」を中心とした支援体制について、モデル事業の地域を参考に調査研究を進める。

問 障害をもつ仲間の自立支援を行うピア・カウンセラー。ピアカウンセリングが大変有効であるが、本市の見解を伺う。

答 新しい取り組みであり、その効果や内容、必要性等について、調査・研究してまいりたい。



とりごえ温泉 栖の宿について 伊藤克也（新風クラブ）

問 「とりごえ温泉 栖の宿」を中核として河内地区一帯を観光資源としてみた場合、どのような方向性をもって活性化されていけるものなのか。

答 地域休養施設、及び滞在型農園施設があります河内地域には河内ダム、市民の森、河川プール等の自然あふれる施設があり、それぞれがもつ機能を活かすとともに、有機的に組み合わせることで施設が持

つ価値をさらに高めるとともに、活用の幅を広げるための改修等について検討を行っていききたい。

また、今後の方向性については、両施設及び市民の森周辺施設の活用等を通して、利用者の温泉・食・くつろぎ・癒しになるような憩いの場を提供し、都市部から中山間地への交流人口の拡大を図り、さらには河内地域の活性化を図る交流拠点として位置づけていきたいと考えております。

このほかの質問◆大木・川原田線、川原田橋・高橋線、神野橋・大木線3市道の位置づけ、認識について



通学路の安全対策 について 柴藤泰輔（天桜会）

問 通学路点検における過去3年間の要望件数と、要望に対する実施件数についてお尋ねします。

答 要望件数は25年度から27年度、23件、19件となっており、実施件数は25年度から26年度、22件、17件となっております。

問 要望に対しての実施もほとんどされていませんが、逆に言えば4件実施されていません。実施されなかった理由は何ですか。

答 実施できなかったものは、市道2件、その他道路2件です。市道に関しては本年度内の実施完了を目指し、その他の道路も関係機関に協力を得ながら、安全で安心な通学路づくりをすすめてまいります。

このほかの質問◆在宅医療について／学校教育について（歴史教育について）、人権教育について）



在宅医療と 介護予防について 古賀和仁（自民クラブ）

問 国の推進している、住まい、医療、介護予防、生活支援が一体的に提供される、地域包括ケアシステム。長寿社会を地域でささえることで住みなれた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができる。生活の質を高めるには、適切な医療・介護サービスが受けられる社会が必要です。在宅医療、介護予防のためにおこなわれている多職種連携による取組と、要支

援者に対する本市の取組について！！

答 在宅医療、介護を推進し、高齢者を支援していくには、多職種の連携と、情報の共有が必要となります。現在、地域の方と事業者の協議が地域包括支援センターでおこなわれており、多職種間の地域ケア会議については、継続して開催していく。今後は、医師会、歯科医師会、事業者等をメンバーに協議会を立ちあげる予定。要支援者に対する事業については、現行サービスの中でおこない、住民主体の支援サービスについては、本市でおこなう。

このほかの質問◆市街地の活性化



鳥栖駅は橋上より 東口設置を

齊藤正治(自民クラブ)

問 橋上駅は、現駅舎の改築と自由通路整備で40億円。東口設置は、東口設置と自由通路整備で25億円の試算であるが、東口設置と現駅舎を改築し、西口にも設置、改札口を2ヶ所とし、自由通路を整備すれば、市民や駅利用者の安全性や利便性が確保される。自由通路には、エスカレーターが併設されるが橋上駅は、ビルの3階部分まで基本階段で上ることになる。サガン鳥栖の試合

終了時の混雑状況を見ると、いつ事故が起こっても不思議でなく、危険性が高い。又駅東には、高層アパート等が立ち並び新しい街が計画されており、駅東の住民やスタジアム観戦者等の来街者の人口は増加し、駅利用者は今まで以上に増加することが予測され、現状より危険性が増し危険分散を図る必要がある。従って、現駅舎を改築し西口と東口の2ヶ所の改札口を設置し、自由通路の整備と共に市民や駅利用者の安全性と利便性を高める。



学校トイレ洋式化 について

下田寛(新風クラブ)

問 市内小中学校は災害時の避難所としての機能を含め、トイレの洋式化が推進されているが、各学校の洋式化率にかなりの差があります。今後は、具体的な計画を立てて推進するべきであると考えますが、執行部の考えをお尋ね致します。

栖市立小中学校トイレ改修に関する決議」が採択されたことから、大規模改造事業とは別途事業として取り組むこと致しました。また、学校は避難所でもあることから、可能な限り洋式化率を上げる必要があると認識しております。まずは屋内運動場と普通教室棟の洋式化に取り組みで参りたいと考えております。
このほかの質問◆避難者カードについて

答

先の9月議会において、鳥栖地区小中学校PTA連合会から「鳥栖市立小中学校トイレ改修の要請書」の提出し、市議会において「鳥

常任委員会行政視察報告

総務文教常任委員会

◆日程：10月11日(火)～13日(木)

◆視察内容

- ・岩手県紫波町『民間活力を用いたまちづくり(オガールプロジェクト)』
- ・青森県青森市『市庁舎建設整備』
- ・岩手県釜石市『防災教育』

建設経済常任委員会

◆日程：10月31日(月)～

◆視察内容

11月2日(水)



九州新幹線西九州ルート の動向について他

江副康成(天桜会)

問 フリーゲージトレインから全線フル規格へ、そのネックとなっていた財源問題、特に地元負担に對して、今村雅弘復興相が提唱される「収益還元方式」で解決の糸口が見えつつある。西九州の玄関口新鳥栖駅を持つ鳥栖市に求められる対応・スタンスについて質問。
鳥栖市学校給食センターの課題のキーワードは「特定天井」、そして同じ目的なのにその要件が国

交省の「かつ」と文科省の「又は」では違っていた。またその対応が、正規の工程会議ではなく、その終了後会議録もない分科会でなされたことに問題がなかったのか。
問 健康で豊かな高齢化社会に向けて介護従事者の身体的負担の軽減を図るために装着型ロボット「マッスルスーツ」の導入が鳥栖市でも進められている。しかし東京理科大学小森研究室を訪ねた折、高齢者のリハビリテーションへの画期的な取り組みに驚かされた。



長野県塩尻市での行政視察の様子

- ・長野県飯田市『中心市街地活性化計画』
- ・長野県塩尻市『塩尻ブランド』
- ・岐阜県岐阜市『回遊性を活かしたまちづくり』
- ・今回学んだことを糧に、鳥栖駅周辺の活性化や回遊性を活かしたまちづくりに取り組んで参ります。

10月臨時会・11月臨時会・12月定例会の付議事件と議決結果

◆全会一致（全員賛成）で可決されたもの

		件名	議決結果
10月臨時会	市長出	財産（土地）の処分 [西新町字所熊 1412 番 3 ほか 1 筆 9,155.45 平方メートルを日本ホイスト株式会社に売却するもの]	原案可決
11月臨時会	市長提出	平成 28 年度補正予算 一般会計、特別会計（国民健康保険、農業集落排水）水道事業会計、下水道事業会計	原案可決
		市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 [人事院勧告等に準じ、市議会議員の期末手当を改定するもの]	
		特別職職員の諸給与条例の一部改正 [特別職職員の給料の減額及び人事院勧告等に準じて期末手当を改定するもの]	
		市職員の給与に関する条例等の一部改正 [人事院勧告等に準じ、市職員の給与を改定するもの] 市職員の退職手当に関する条例の一部改正 [雇用保険法の一部改正に伴うもの]	
	議員提出	特別職職員の諸給与条例の一部を改正する条例に対する附帯決議（案）	
12月定例会	市長提出	平成 28 年度補正予算 一般会計、特別会計（国民健康保険、産業団地造成）、下水道事業会計	原案可決
		市長及び市議会議員の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例等の一部改正 [公職選挙法施行令の一部改正に伴うもの]	
		農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数条例 [農業委員会等に関する法律の一部改正に伴うもの]	
		市税条例等の一部改正 [地方税法等の一部改正に伴うもの]	
		子どもの医療費の助成に関する条例の一部改正 [現物給付方式による医療費助成を高校生まで拡大するもの]	
		国民健康保険条例の一部改正 [国民健康保険税の納付に係る分割方法の見直し等に伴うもの]	
		指定管理者の指定 [公の施設（地域休養施設、滞在型農園施設）の指定管理者を指定するもの]	
		基山町と鳥栖市との公共下水道事業に係る事務の委託に関する規約の変更 [基山町大字長野字会田の一部の区域について、公共下水道に係る事務を受託するもの]	
		水道事業施設の使用に関する基山町との協議 [基山町大字長野字会田の一部の区域について、浄水場ほか基山町住民に使用させるために必要な施設を使用させるもの]	
		市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び市職員の育児休業等に関する条例の一部改正 [育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の改正に伴うもの]	
		北朝鮮による日本人拉致問題の早急な解決を求める意見書（案）	
		骨髄移植ドナーに対する支援の充実についての意見書（案）	
	安心な社会保障と強い地域経済を構築するための地方財政措置を求める意見書（案）		
地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書（案）			
地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書（案）			
その他	議会運営委員の選任 [2 ページ参照] 議会運営委員会の閉会中の継続審査の件	選任 継続審査	

◆賛否が分かれたもの

		議員名															議決結果								
		件名	西依規	伊藤克也	下田寛	飛松妙子	樋口伸一郎	柴藤泰輔	江副康成	久保山博幸	中川原豊志	久保山日出男	内川隆則	藤田昌隆	国松敏昭	尼寺省悟	成富牧男	小石弘和	松隈清之	古賀和仁	齊藤正治	森山林			
12月定例会	市長提出	印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議員提出	南スーダンからの自衛隊の撤退を求める意見書（案）	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	○	○	●	●	●	●	●	●	否決	
		慎重な憲法論議を求める意見書（案）	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	○	○	○	●	●	●	●	●		
		介護保険制度のサービス縮小を行わないことを求める意見書（案）	○	○	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		参議院選挙制度改革に対する意見書（案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	

○=賛成 ●=反対 —=棄権 ※議長（中村直人）は表決には参加しません

議会日誌

10月

- 11日～13日 総務文教常任委員会行政視察
(紫波町、青森市、釜石市)
- 12日 市議会だより編集委員会
- 17日 佐賀県市議会議長会(唐津市)
- 21日 議会運営委員会
- 26日 九州議長会基地協議会総会(鳥栖市)
- 27日 市町村行政講演会(佐賀市)
- 28日 **10月臨時会**
- 31日～11月2日 建設経済常任委員会行政視察
(飯田市、塩尻市、岐阜市)

11月

- 1日 総務文教常任委員会
- 22日 会派代表者会
全員協議会
総務文教常任委員会
鳥栖駅周辺整備調査研究特別委員会
- 24日 議会運営委員会
- 28日 鳥栖市議会・小郡市議会合同研修会(小郡市)
- 29日 **11月臨時会**

12月

- 1日～20日 **12月定例会**
- 1日 市議会だより編集委員会
- 12日 議会改革検討会
- 20日 市議会だより編集委員会
- 22日 全員協議会
- 26日 市議会だより編集委員会

- 他議会からの視察来庁【10月～12月】
寒河江市(山形県) 登米市(宮城県)
北区(東京都) 安城市(愛知県)
坂出市(香川県) 米子市(鳥取県)
名古屋市(愛知県) 門真市(大阪府)
西尾市(//) 出水市(鹿児島県)
以上10議会 [来庁者合計91名]

**次回定例会は
3月上旬からの予定です。
ぜひ傍聴にお越しください。
ご意見はこちらまで。**

電話 0942-85-3525
メール gikai@city.tosu.lg.jp

意見書

- 北朝鮮による日本人拉致問題の早急な解決を求める意見書
提出：自民、新風、天桜、誠和
- 骨髄移植ドナーに対する支援の充実についての意見書
提出：自民、新風、天桜、公明、共産、誠和
- 安心な社会保障と強い地域経済を構築するための地方財政措置を求める意見書
提出：自民、天桜、公明、誠和
- 地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書
提出：自民、新風、天桜、社民、公明、誠和
- 参議院選挙制度改革に対する意見書
提出：自民、天桜、公明、誠和
- 地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書
提出：議会運営委員会

※上記の意見書は、国会及び関係行政庁に送付しました。

陳情

- 仮称味坂インターチェンジ設置に関する要望書
基里地区区長会 会長 山口 重昭
- 「地球を守れる社会体制創り」の為に陳情書
荒木 實

表彰

- 特別叙勲 旭日単光章
故 宮地英純 氏 (元議員 10月14日逝去)

お知らせ

鳥栖市議会では、ホームページに議会日程や議決結果などを公開しております。ぜひご覧ください。

編集後記

平成29年が明け、はや1ヶ月半を経ました▼皆様におかれましては、今年一年を素晴らしい一年にしようと目標を掲げられ、決意されたことだと思います▼私も個人的な決意はありますが、まず願うのは、我が国、日本国の栄光であります▼次世代を担う子どもたちが、日本国に生まれて良かったという国にしなければなりません。大人の責務です▼最後に今年一年、市民の皆様の栄を祈念いたします。(柴藤泰輔)